

東京2020パラリンピックで 上越市ゆかりの選手が入賞しました



■問合せ…オリンピック・パラリンピック推進室 (☎025-545-9216)

大会結果

◆石浦智美選手 (当市出身の水泳選手)
50m自由形…7位入賞
100m自由形…8位入賞
400mリレー…5位入賞 (日本新記録)

◆ドイツパラリンピック柔道チーム (当市で合宿を実施)
カルメン・ブルスィヒ選手 (女子48kg級)…予選敗退
ラモーナ・ブルスィヒ選手 (女子52kg級)…5位入賞
ニコライ・コルンハース選手 (男子73kg級)…準々決勝敗退
オーバー・アップマン選手 (男子100kg級)…5位入賞

石浦選手が地元・上越市に凱旋!

東京2020パラリンピックで活躍した石浦選手が来越し、9月27日には市長へ入賞報告を、28日には母校である北諏訪小学校を訪問し、子どもたちと交流しました。

今大会で「努力し続ければいつか夢は叶う」ことを体現した石浦選手の姿は、市民や子どもたちに大きな勇気を与えてくれました。



吉川区川谷地区
宇野 拓朗さん

活動内容を教えてください
ほ場での草刈りや稲刈りのお手伝いをしていきます。また、戸別訪問してお手伝いできることはないか伺ったり、畑作業や地域イベントに積極的に参加したりしています。

地域おこし協力隊への応募希望は？
棚田に携わる仕事がしたく、思い切って決断しました。数ある協力隊の募集の中、吉川区川谷は活躍する先輩移住者が多く、地域の将来を前向きに考えていると感じました。見学时に地元の皆さんの話をお聞きし、ここしかないと思いました。

今年8月から活動を開始した宇野隊員を紹介합니다。



シリーズ
地域おこし協力隊 ④

今後の目標、抱負を教えてください
まずは、協力隊の任期中に川谷で独立・永住するための基礎を作り上げたいです。稲作を始め、鳥獣害対策や新規就農者の受け入れに関する窓口にもなりつつ、自分の将来を見据えて活動していこうと思っています。

地域での暮らしで感じていることは？
川谷は限界集落と呼ばれていますが、いざ暮らししてみると、限界を迎えている場所ではなく、希望のある場所だと感じました。未就学児や10代をはじめ各年代が揃い、私のことを温かく受け入れてくれました。そして、全員が川谷への強い思いを持っています。

念願の棚田での収穫！
初めての体験に少し緊張します

